経済経営学部

経済学科

経営学科

人文学部

心理学科

歴史文化学科

バイオ環境学部

バイオサイエンス学科 バイオ環境デザイン学科 食農学科

健康医療学部

看護学科 言語聴覚学科 健康スポーツ学科

工学部

機械電気システム工学科

[大学院]

バイオ環境研究科

工学研究科

経営学研究科

経済学研究科

人間文化研究科

入学センター

[入試に関するお問い合わせ先]

TEL:(075)406-9270(直通) E-mail:nyushi@kuas.ac.jp

www.kuas.ac.jp

京都太秦キャンパス

〒615-8577 京都府京都市右京区山ノ内五反田町 18

京都亀岡キャンパス

京都府亀岡市曽我部町南条大谷 1-1





京都先端科学大学

Concept Book 2023

─ 私たちが考えているコト ─



未来を生み出せ

◎この表紙のイラストはスタートアップを そのストーリーを制作したときの絵柄です。

Contents

- 2 ステートメント
- 4 理事長メッセージ/学長メッセージ
- 6 建学の精神/実践力を身につける
- 8 私たちは次代に挑戦します
- 10 飛躍の STAGE 2.0 へ
- 12 ビジネススクールの開講
- 14 キャップストーンプロジェクトの実践
- 16 オープンイノベーションセンターの設立
- 18 力のある社会人になるために
- 20 多様性を理解した国際人財へ
- 22 世界を感じるインターンシップ
- 24 持続可能な地球へのアクション
- 26 デジタルトランスフォーメーション × KUAS
- 28 "Move Ahead -未来を生み出せ"
- **30** NEWS/アクセス

Move head

未来を生み出せ

今、世界を決定的に変えてしまう何かが起きている。 君たちはそう感じているのではないだろうか。

デジタルテクノロジーがリアル世界を包み、

驚くような速さで人間や世界への認識を

根底から変えていく。君たちがこれから目にする世界は、

積み上げられてきた過去からは予想もつかない日常へと

塗り変えられていくだろう。

成功が約束されているわけではない。夢が砕かれる時もあるだろう。

だが、自由に飛躍できる未来は君たち次第で格段に広がっていく。

何かに挑むことで、自分を変えていく。

何かに挑むために、仲間とつながっていく。

何かに挑むときに、君たちの未来が生み出されていく。

Move Ahead 未来を生み出せ

君の未来を生み出せ、彼方の世界を動かせ

君の未来を生み出せ、彼方の世界を動かせ





夢をカタチに

日本の大学では、学生が卒業後、社会に出て直ぐに活躍できる素地を在学中に身につけられるような教育システムになっておらず、このため、世界水準の実践力を備えた人材が中々育っていないという現実があります。それならば、そういう大学を自らの手で作らなければならないと考え、2018年、私は本学園の経営に参画しました。また、この考えをもう一段発展させるべく、予てより重視していた初等教育から大学まで一貫した教育を実施するために、2021年4月には京都学園中学校・高等学校と法人統合し、京都先端科学大学附属中学校高等学校として中高大一貫教育を始動させる事となりました。更には、本年2022年4月、各専門分野のトップクラスで活躍している講師陣が教鞭をとるビジネススクール(経営学研究科経営管理専攻)も開講しました。

目まぐるしく変化する社会の中、私が考える企業で求められる能力は3つのP、「Proactive」(自ら進んで仕事ができる)、「Productive」(生産性の高い仕事ができる)、「Professional」(自分の専門性を持つ)です。こういった能力に加えて、私が必要だと考えるのは人の気持ちがわかる人間力です。本学では、「教え」だけでなく、"教え育てる"本来の「教育」を行います。そういった環境の中で、本学は、自ら未来に向かって挑戦し、世界で活躍できる人材、また私のように自ら起業したいと思う夢ある人材を育てる大学に進化しています。学生の皆さんにとって大切なことは大学生活4年間にどれだけ成長できたかです。我々はここでの時間を無駄にはさせません。

私は企業経営においても、周囲が驚くような高い目標を立ててきましたが、すべて実現してきました。同様に、この大学改革も大きなチャレンジですが、必ず成功させます。10年後には、この大学が世界でも通用する一流の大学になっていることをお約束します。若い皆さんには、まずは夢を持って欲しい。そして、学ぶことで自信を持ち、夢をカタチにし、多様な社会で力強く生きてほしいと切に願っています。

未来を生み出すのは君たちだ

京都先端科学大学は、経済経営学部、人文学部、バイオ環境学部、健康医療学部、工学部の5学部のもと11学科と5研究科を擁する総合大学です。社会科学、自然科学、人文学を網羅する、コンパクトではありますが、骨太の大学です。学生の皆さんが「自らの未来を描き、それに挑戦し、描いた未来を現実とする力を身につける」、そのために、私たちはできる限りの支援をしたいと思っています。専門科目はもちろんのこと、自立した人間として社会を生き抜くリベラルアーツを学ぶこと、そして知恵と知識を身につけ、日本のみならず世界の人々とのコミュニケーション能力やプロジェクト推進のためのマネジメント力を修得すること、です。

本学は、進化し続け、未来を生み出します。工学部に、本年も20か国の留学生が加わり、昨年と併せ、150名になる予定です。今後、バイオ、経済経営をはじめとする学部にも海外からの学生がさらに参加していきます。多様な国籍の学生が切磋琢磨し、異文化交流ができる環境が整い、キャンパスの国際化がさらに進みます。また、2022年4月には、ビジネススクールを開講しました。理系のエンジニアが経営を学び、文系の経営志望者が最新の情報工学や科学技術を学ぶ。これまでのような文系・理系という学問の枠にとらわれず、今の社会を生き抜くために必要な経営力を身につける専攻を目指しています。さらに、2023年にはデジタライゼーションの加速を見据えて、次代の専門性の基盤となるべく、絶えざる変化へ自らを自由に開いていく柔軟な思考力に向けて"D-LAL (デジタルリベラルアーツリテラシー)"という教育プロジェクトを展開します。そこでは、5 学部横断的な教育プログラムとしてデジタルツールを介しての新しい教育にチャレンジしていきます。

まさに現代は不確実、激動の時代です。この時代を皆さんは、生きていきます。だからこそ、皆さんには「自分の未来」を語ってもらいたい。学び、そして未来観の違う人たちと触れ合い、友人と切磋琢磨する、この大学生活を満喫してください。それは皆さんが自らの手で未来を切り拓いていく"力"となるでしょう。私たちは、皆さんが自分の「未来」を生み出すことに向けて実力を発揮できるための場を提供したいと思っています。

教育改革の先駆となり、世界で活躍する人財の輩出を目指します。

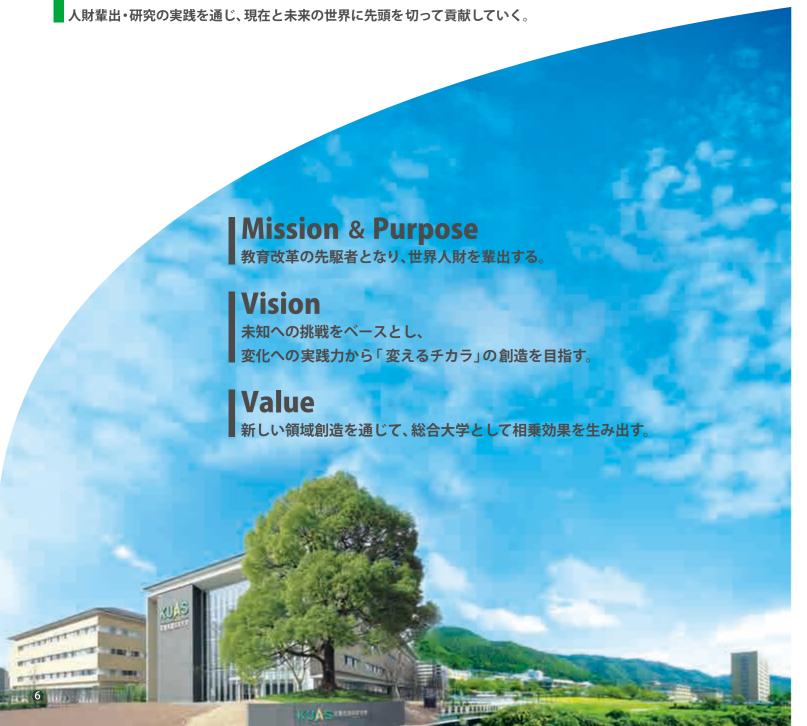
4

私たちの建学の精神

KUAS's Spirit.

私たちは「先端」に積極的に関わり、 創造的に未来を創り出す人財輩出を目指します。

未来につながる課題を自ら設定し、それを解決することができる先端人財を輩出する。 これからの社会が目指すべき姿を構想し、その実現に向けた諸課題の解決につながる先端学術研究を実践する。



本学で身につく社会での実践力に向けて

学生は専門性を深めるとともに、その基盤となる学びを通じて新しい変化へと開いていく 柔軟な思考や姿勢と実践的な関わりを生み出すチカラを身につけていきます。 本学のすべてのプログラムの根底には、社会への実践力を身につけるという考え方があります。

京都先端科学大学の

教育の特徴

本学の学生は、どの分野であれ1つの専門性を深く学ぶとともに、他分野にも関心を広げ、人々や 社会での現実に参画し、実践的に何かを創り出すチカラを身につけていきます。

特徴2

全員が身につける資質・能力

言語ベース教育 「英語科目」

実践的な英語を通じ、自分の 意見をカタチにする能力を磨く

アカデミック・ スキル科目

基礎学力・IT技能を確実に修得

スタートアップゼミ

相互の議論を通じて、課題解決 型の学びを体得する

未来展望科目

異なる分野の視点から課題 発見・解決力を磨く

スポーツ・ライフ スキル

スポーツ体験をベースに、コミュ ニケーション力などを楽しく磨く

特徴4 社会への

特徴3

プロジェクト キャップスト.

世界人財としての能力・資質

自ら変わり、仲間とともに挑戦するチカラ



2022年 KUASは STAGE 2.0

教育、研究を深め、社会への関わり、 連携を広げていきます。

STAGE 2.0

(2022年~)

STAGE 1.0 (2019年~)

校名変更一 京都先端科学大学へ

- -教育基盤確立-
- ■実践的英語教育プログラムの実施
- ■外国人教職員の拡充
- ■海外・国内インターンシップの充実
- ■キャリア教育の刷新
- ■工学部開設(英語で授業を学ぶ)
- キャップストーンプロジェクト(工学部)の設定
- ■国際学生寮の整備
- ■国際学術研究院の設立

"Move Ahead — 未来を生み出せ"

- ー学外連携・研究の拡充ー
- ビジネススクールの開講
- フューチャーセンターの開設
- オープンイノベーションセンター・亀岡の始動
- キャップストーンプロジェクト(工学部)の実践
- FuBEIC (未来バイオ環境共創センター) の設立
- 源氏物語テキストアナリティクス・センターの設置
- デジタルリベラルアーツリテラシー (D-LAL)の展開へ

STAGE 2.0 始動

STAGE 2.0 進化

KUAS 京都先端科学大学

Move Ahead

未来を生み出せ

Start

Advance

今までにない「世界」で未来を自ら生み出すチカラを身につける。

私たちは3年前に世界人財を生み出すことを目指した教育改革へと出発しました。なぜ、「世界」人財だったのでしょうか? それは、未だかつてない「世界」規模の変化と向き合い、私たち自身の存在を深め、社会への実践力から、学ぶことの意義や 人財を捉えなおしていかなければならないと考えたからです。

私たちが向かう「世界」とは、今まで考えられてきた世界ではありません。コロナ禍、SDGsなど持続可能性、人工知能やITで つながるグローバルなネットワーク、AR/VR/XR などメタバースと呼ばれる未知領域、すべてが大きな未来変化に私たちを 巻き込もうとしている「世界」なのです。私たちは2022年からをステージ2.0として捉え、この「世界」で渦巻く変化に立ち向かい、 積極的にその先へ挑戦する姿勢を "Move Ahead — 未来を生み出せ"という合言葉に集約しました。

私たちの目指す「世界」人財とは、変化に挑戦することで自ら未来を生み出していく人財です。私たち一人ひとりが "Move Ahead — 未来を生み出せ"という言葉を胸にし、小さくても確実な挑戦を始めていきます。

STAGE 3.0

(2025年~)

変えるチカラを創出する 知と実践のネットワークへ

- 一地球・社会への広がり一
- ■イノベーション人財の育成
- ■グローバル、ネットワークへのさらなる拡張
- ■社会への関わりや貢献の深化
- ■英語ベースでも、卒業単位が取得できる国際コースの充実 (経済経営学部・バイオ環境学部での展開)

- 1. リアルな経営実践に向けて、『ビジネススクール』を開講。
- 2. 日本初の挑戦『キャップストーンプロジェクト(工学部)』の実践。
- 3. 産学公連携『オープンイノベーションセンター・亀岡』が始動。
- 1. 社会に出たときに、強みとなる『教育基盤づくり』。
- 2. 自然と国際感覚が溢れる『キャンパスライフ』。
- 3. 国際社会の最前線で『インターンシップ』。
- 1. 地球社会に関わる『国際映画への協力』とSDGsへの関わり。
- 2. 劇的な変化を迫るデジタル化への『パートナー連携』。
- 3. 本学の人々の『個性と多様性』。

STAGE 2.0 拡張 Network

日本で初めての体験型デジタルデータサイエンスを提供します。

急速なデジタル社会の加速でデジタルに関する知識を活用できる実践力として身につけること が必要になっています。このデジタルリテラシーの体得に向けて、2023年4月、私たちは日本で 初めて体験型デジタルデータサイエンスの科目を発足させます。

デジタルリベラルアーツ リテラシー

Digital Liberal Arts Literacy D-LAL(ディーラル)

最先端 DX 技術の早期体験 (驚き、感動、好奇心を呼び起こす Early Exposure)を目的とし、 最先端 AI 技術を駆使した教育支援アプリ、

eduBrAIn (エデュブレイン*)を活用した講義で分野横断的な教育として 新しい時代の教育デジタルトランスフォーメーション(DX)を実現します。 この試みを通じて Student Centered Learning (学生中心の学び)への 新しい教育実践を展開します。



デジタルアプリにより、学生が中心の学びの場を提供し、 学生の積極性(挑戦するチカラ)を引き出し、 AI/データサイエンスを自分のものとして使いこなし、 柔軟な資質・能力を専門性に付加させる教育を目指します。



※エデュブレインは本学が デロイトトーマツ コンサルティング合同会社と 共同開発した最先端教育支援アプリ。 エデュブレインを活用してグループワークによる ブレーンストーミングを行います。

コロナ禍だからこそ学生たちのチャレンジを大切にしてきました。

コロナ禍でも、学生たちは独自の活動にチャレンジしてきました。私たちは、本学の学生とその 仲間たちのチャレンジを大切にサポートしていくために、一人ひとりの活動に込められた"想い" を表現し、学生たちの未来を生み出すチャレンジを応援し続けます。

バイオ環境学部バイオ研究で実験に打ち込む学生。



人文学部 台湾の大学院で歴史研究に進もうとする学生



工学部国際コンペティションで優勝した学生たち。



健康医療学部 言語聴覚士の資格に挑む学生。



経済経営学部起業に向けてプロジェクトを立ち上げた学生。



経済経営学部コロナ禍、パワーリフティングで世界新に挑んだ学生



发出型力1.

リアルな経営実践に向けて、『ビジネススクール』を開講。

超一流の教授陣による理論ベースとリアルな経営実践者による 卓越した知見を同時に提供する本学オリジナルプログラム。



汎用性のある能力・資質を組み合わせて、 最先端の経営課題を深め、経営への実践力を生み出す。

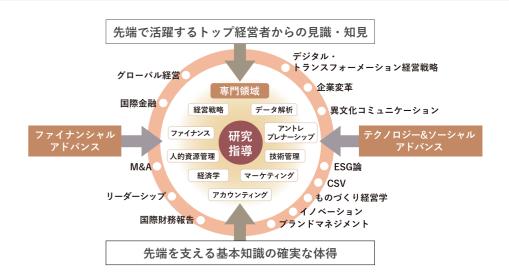
先端的専門知識と汎用性のあるスキルを獲得できるビジネススクールが 2022年 4月に開講。

常に変化が続く経営環境では、専門的な知識と同時に変化に柔軟に対応できる汎用的スキルや能力を持った経営 人財が求められています。エンジニアから経営者へと違う領域から事業経営に関わる人財を育てるときのように、 専門性を生かすとともに汎用的 (Transferable) な資質の体得が求められてきます。

> コミュニケーションスキルやデータ解析スキルの獲得など人間的な視点から創造的な 仕事のあり方に向けて学生と教員が相互に向き合う。

修士論文の執筆指導を通じて多数の専門知識の深化を幅広い視野の中で体系化し、 これらを統合する論理的思考や実践的な知を鍛える。

京都の企業に共通する強みを、先端的でグローバルな経営能力に反映させる。



古都、京都は国際都市であると同時に起業都市でもあります。実際、この京都から「オンリーワン」の製品を製造するグロー バル企業が多数誕生しています。本学の永守理事長も自ら教員として講義を持つ予定です。本ビジネススクールでは京都の企業 ならではの視点を生かし、グローバルなイノベーション、SDGs、ESG など経営面での先端的問題に取り組み、次代を担う人財を 育成し、そのネットワークを広げていきます。本ビジネススクールは、イノベーションが加速する中で創造的に課題解決を目指し、 クリエイティブな人間領域に目を向け、企業のトップ層が学び合う環境を実現するためにフューチャーセンターを立ち上げました。

ビジネススクール長 徳賀 芳弘



2022年4月より稼働のフューチャーセンター



フューチャーセンター内



撮影:西川 公朗

数量打2.

日本初の挑戦『キャップストーンプロジェクト(工学部)』の実践。

企業が現場で直面する課題に取り組む中で 実践的な専門知識を体得していきます。



国際的トップクラスの工学教育で採択されている 実践的な課題に取り組むプロジェクトが本格稼働します。

キャップストーンプロジェクト※

多くの企業では実践的な知識を組み合わせて現実の課題解決ができるエンジニアの力を望んでいます。学生は こうした企業の課題を強く意識することで専門知識の重要性や必要な知識を自ら獲得する姿勢の必要性を学び ます。また多様な視点の意見に耳を傾けて学生同士で意見を重ねることで、共通の目標に向かって新たなものを 創造していく重要性への気づきを得ることができます。

その3大特徴

専門知識が現実課題の中でどのように使われるのかを理解する。

就業意識を醸成し、社会における自分の役割を認識する。

個人の力とチームワークの重要性を会得する。

「企業の課題解決に取り組みながら実践力を蓄える」こうした考え方に多くの企業から協力を得て、各企業の現場 から提供されたホットな課題に、工学部全員が3年次の必修科目として取り組みを始めます。



課題を共有し、企業との インタラクションを深める。



学生同士のディスカッションから 解決を探る



担当教授からの専門指導を受けながら ディスカッションする。

●キャップストーンプロジェクト参画企業











日本電産株式会社



ペンタリンク株式会社









※キャップストーンとはピラミッドの頂上に最後に載せる石のことで、学んだ知識を実践的活動の中で使いこなす知恵へと高める学びの集大成を表しています。

发生,**拉斯**3.

産学公連携『オープンイノベーションセンター・**亀岡**』が始動。

京都亀岡キャンパス内に オープンイノベーションセンター・亀岡(OICK)を整備、

多面的な産学公連携事業を展開します。

地域経済の活性化に向けて 産学公、三位一体のイノベーションへ始動。



亀岡市、亀岡商工会議所、 本学との3者間で連携協定を締結。

具体的な取り組み●

ーものづくり分野 ー

EV(電気自動車)イノベーション

2030年ガソリン車製造禁止の政府方針を控え、全国に数百万人いる自動車産業 に従事する就労者に対して EV のメカニカル面は勿論、MaaS (Mobility as a Service)などの社会インフラ、自動車捐害保険などについて授業、実践的研修な どの教育プログラムや実証実験を行い、イノベーションを起こしていく人財を育成 していきます。 写真右:協定書締結式にて(左から本学前田正史学長、桂川孝裕 亀岡市長、川勝啓史 亀岡商工会議所会頭)



BEST PAPER AWARD

工学部のアルベルト・カステラッズィ教授による、モータシステムのコアになる 「Y-インバータ」の開発研究は2021年に開催された電気機器およびシステムに関する 国際会議ICEMSにおいて、高く評価され、BEST PAPER AWARDを受賞しました。





具体的な取り組み❷

ーアグリ分野ー

アグリイノベーション

京野菜の生産者と連携して高機能食材や生産手法の効率化を共同で開発し、 またベンチャー企業や充電機器メーカーと連携して家庭菜園の loT化を具現化 していきます。これらの取り組みによりサステナブルなライフスタイルの提案を 目指していきます。



写真提供:ベジタリア

具体的な取り組み❸

ーバイオ分野-

未来バイオ環境共創センター(FuBEIC)を創設





持続可能な地球環境と食環境の維持・創出を目指し、国内の他大学、研究機関との連携だけでなく 先端環境下での産業化への人財を育成し、産業界だけでなく地域、国際共同研究など、幅広い連携を目指していきます。

主な研究分野

人類共通の食や健康に関する先端研究

先端食資源機能科学部門

- 先端食品機能分野
- 先端生物機能分野
- 先端食資源分野

食資源、環境資源の企業化研究

先端環境産業化部門

- 先端環境技術実践分野 • 先端地域産業関連分野

持続的な地球環境創出研究

先端環境・資源科学部門

- 国際環境分野
- 先端生物資源利用分野
- 先端環境資源分野

Advance E1 .

社会に出たときに、強みとなる『教育基盤づくり』。

多様な国々の学生たちとの共通体験から『英語力』、 『スポーツ・ライフスキル(SLS)』を磨き、国際社会人として 活躍するための力を生み出します。



多様な国々の学生とともに実践的体験を通じて英語力を強化し、 スポーツ・ライフスキルも身につけながら 一歩前へ踏み出す力を生み出していきます。

人生100年時代、それぞれの人生のステージで自らを更新させる国際社会人の基礎。

英語力強化/スポーツ・ライフスキル

本学は社会に出て本当に活躍できる人財を育成するための教育改革を出発点としています。未来への変化を取り込んでグローバル社会で活躍するため、大学で学ぶ専門性とともに必須となる英語力、お互いを受け入れるコミュニケーション力のためのスポーツ・ライフスキルを通じて社会人の素養を身につけていきます。

世界規模の社会変化

グローバル社会での 競争力 価値観の異なる国や世代との交流

英語力の強化とスポーツ・ライフスキルを通じて高める国際社会人の素養

1) 英語を使い、対人的コミュニケーション力を鍛える。

就職する企業は国内外を問わず、顧客が世界中の人たちになっており、当然、コミュニケーションの共通言語は英語になります。英語ができることは有利ではなく必須になってきます。本学では英語教育の履修時間を十分に確保しながら国際社会に通用する人財を輩出していきます。





2)スポーツ体験を通じてチームワークや リーダーシップを学び、壁を乗り越える能力を修得する。

スポーツ・ライフスキルは、社会で活躍するために必要な基本的能力の育成を目的に本学が行っている大学スポーツの授業です。多様な国々の学生との共通のスポーツ体験を通じて前向きに物事を捉え、人間関係を作り出していくスキルや能力を身につけていきます。

Advance £12.

自然と国際感覚が溢れる『キャンパスライフ』。

コロナ禍を越え、キャンパスでは 5人に1人が国際学生として集い、学び合います。



様々な言語、人種、価値観など多様性に自然と触れる環境。 そのことが英語に対する苦手意識を低くしていく。

世界各国から学生が集まる

海外では、様々な言語が飛び交う環境に身を置くため、国際感覚が自然と身についていきます。本学が目指してい るのは、そうした多様性を認め合う国際感覚が自然な環境としてキャンパスを彩り、学生たちが様々な媒体やネット ワークでつながり合うことです。型にはまったプログラムよりも、まずそうした環境を実現すること。一部の意識の 高い学生だけが機会をつかんで国際化するのではなく、本学の2つのキャンパスで多様性に触れることから自然 に進化していきます。

2022年4月現在、国際学生は23か国から受け入れています。日本人が国際学生と一緒になって寮に住んだり、授業を 受けたり、イベントにも参加したり、英語で行われる授業は工学部から広がり、2025年には経済経営学部とバイオ 環境学部において英語でも卒業単位が取得できる国際コースが開かれるなどキャンパスの内側から国際化に 向かって進化しています。

世界の大学とますます交流が深まる

現在、学術交流協定を締結した大学(予定含む)は29を数え、提携校と相互に訪問し、学生と教員が活発に交流し ています。海外の学生と共通の関心事である環境問題などの社会課題について調査を行い、プログラムを組み立 て双方向の活発な交流を推進していきます。

米州

米国

タフツ大学 オハイオ州立大学 ハワイ大学マノア校 ウースター工科大学 ノースセントラルカレッジ

フランス トゥールーズ国立工科大学 ESIEE Paris

ドルトムント工科大学 スウェーデン セーデルトーン大学

オーストリア グラーツ工科大学 セルビア ノヴィサド大学

台湾 国立成功大学

国立体育大学 開南大学 明道大学

アジア・オセアニア

中国 浙江大学 上海体育学院

南通大学

国立高雄餐旅大学

ソウル国立大学校 シドニー工科大学 徳成(トクソン)女子大学

世明(セミョン)大学 モンゴル イフ・ザスグ大学

国立カセサート大学 ランシット大学

IPB 大学(ボゴール農業大学)



コロナ禍を乗り越え、 少しずつ大学自体が こうした環境づくりの中で、 交流の輪を広げています。

国際人として一番大切なのは、 多様性の理解です。

京都先端科学大学 副学長(研究・国際)・教授 日本電産株式会社 専務執行役員・生産技術研究所長 小関 敏彦

Advance IEIC3.

国際社会の最前線で『インターンシップ』。

世界で活躍する人財育成に向けて最前線でのインターンシップを実施。 一人ひとりが「ありたい姿」を実現するために 自律的に考えて行動する本学独自のキャリア教育を展開しています。



国内外の課題に向き合い、リアルな仕事を経験する。

世界を取り巻く社会情勢を自分ごと化して捉えていくため、 海外、国内で現実に向き合うインターンシッププログラムを実施しています。

インターンシッププログラム

全学部全学科の学生が年次を問わずに参加する「全学共通型プログラム」には海外インターンシッププログラムと国内イン ターンシッププログラムがあります。身をもって世界を感じられるからこそ、納得して自分の将来をつくることができます。

海外プログラム

世界で活躍する人財になるためのグローバルインターンシッププログラ ムです。アメリカ、ヨーロッパ、アジアなど、世界各国へ飛び、最前線 のビジネス現場で就業を経験。2021年度では37名の学生が挑戦しました。 コロナ禍ではオンラインツールを駆使し、時差を超えて世界とつながりな がら働く経験をしました。



国内プログラム

日本を支える民間企業や行政、非営利団体などでインターンシップを経験 できる国内プログラムです。官公庁、金融、メーカー、食品、コンサルティング、 スポーツなど、幅広い業界の企業・団体様に受入れて頂いています。2021年 度は201名の学生が経験しました。常に変化する社会の中で求められる人財 像や将来の見通し、変化に対応し続ける力を学びます。







キャリア教育

「職業社会を取り巻く社会情勢を自分ごととして捉えてほしい」。これが、本学のキャリア教育に込められたメッセージです。進路選択 では「自己理解」「社会理解」の双方が大事ですが、現実に即した自己理解ができなければ意味がありません。そこで本キャリア教育の 科目では「職業社会の理解」に重点をおき、アクティブラーニング形式の授業を展開しています。大学1年生の時点から職業社会を取り巻 く社会情勢について理解してもらうことによって、今後の大学生活を有意義に過ごしていくためのきっかけにしてほしいと考えています。

1年生から受けられるキャリア教育

本学はコロナ禍以降の変化の激しい社会の中で、「ありたい姿」や「やりたい仕事」に近づくためにはどうすればよいのか自分 自身で考え、行動するために、企業や社会人との接点を持つ機会を提供しています。さらに、低年次からインターンシップに 参加し、3年生から本格化する就職活動に留まらず、社会で必要な知識とスキルを身につけます。

キャリアデザイン・キャリア形成実践演習

日本が直面する社会・構造変化を理解し、人生100年時代において、「働く」ことの意味・意義を考えます。社会を知るために、 「業界・企業・職種」についての理解を深め、これまでの学生生活や学び・成長を振り返り、その上で自分の長所や価値観、 身につけた能力・スキルについて理解します。

Network FIGS 1

地球社会に関わる『国際映画への協力』とSDGsへの関わり。

バイオ環境学部の教員と5学部の学生、教職員が一体となって、 ニューヨークの子どもたちがプラスチック汚染を知り未来のために アクションを起こすドキュメンタリー映画の上映に関わりました。



日本語吹替オーディションをキャンパスで実施し、 SDGsへの実践としてドキュメンタリー映画の 京都での上映を支えました。

環境問題へアプローチ

ドキュメンタリー映画『マイクロプラスチック・ストーリー』の日本語吹替え版制作には全5学部より約40名の学生が 参加しました。 学生たちは子どもたちに使い捨てプラスチックごみ 削減やマイクロプラスチックによる海洋汚染、 SDGsについてより知ってもらえるよう、研究成果をわかりやすく説明しました。また、GBS放送局(放送部)はオーディ ションのビハインドザシーンを撮影。環境問題への関心をより深め、アクションを起こすことの重要性を学びました。





バイオ環境学部は SDGs に積極的に関わっていきます。

近年、地球環境の破壊が進み、地球規模での災害も多発しています。今のままの人間活動を続けると、地球環境の 悪化が不可逆的になり、人類は危機に瀕すると予想されています。地球は人類の共有財産です。持続可能な地球環 境という観点から、国を超えて様々なシステムのあり方を見直し、「すべての生物が地球と共存できる未来」を築かな ければいけません。この未来像は、私たちバイオ環境学部が目指してきた「バイオ環境」の実現そのものなのです。 バイオ環境学部長 福田 裕穂

SUSTAINABLE GALS























Network 打広号 2.

劇的な変化を迫るデジタル化への『パートナー連携』。

企業やビジネスだけでなく、

社会全体を大きく変えるデジタルトランスフォーメーション(DX)。 変革に向けて様々な企業とのパートナー連携に踏み出しています。



ビジネスそのものを変える変化の波に対して、 企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を 支援するプロジェクト連携を創り出す拠点を開設。

The Smart Factory@ Kyoto

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社と連携して京都太秦キャンパス 南館に設置したスマートファクトリーは、日本の ものづくり DXの推進に必要な実践的な知識・体験を得られる仕組みを備えています。全学だけでなく、他大学・企業・自治 体向けのDX教育への展開を通した産学公への貢献を本学およびデロイトトーマツ コンサルティング合同会社が連携・協力 し、実現することを両者共通の目的とし、主に次の3点の施策に取り組みます。

専門力、実践力、グローバル力を 兼ね備えた学生の育成、輩出を 目的とした、教育連携に関する施策。 日本企業のものづくりDX推進に必要な 実践的知識、体験を得られる

イノベーションスペースに関する施策。

■教育、産業界のDX活用、 推進を後押しする 仕組みづくりに関する施策。

ものづくりのDXに必要な実践的知識と体験を得られます。

2021年、ものづくりDX推進に必要な実践的知識、体験を得られる デロイトトーマツ コンサルティング合同会社が提供し、学生に 連携によるものづくりDX推進を図る拠点とする計画です。同じくのづくりのDX推進に資する連携を深めていきます。 2021年より、KUAS の学生を対象としたインターンシッププログ ラムを開始しています。本プログラムでは「社会の即戦力人材」 になるために必要なマインドセット、スキルなどを体感できる場を

「The Smart Factory @ Kyoto」を京都太秦キャンパスに開設し 疑似プロジェクトワークを経験してもらいます。 今後、京都の ました。KUASの学生がものづくりの実践的な学びを得る場、ま 地域社会や地場産業との連携を含む、教育、産業界のDX活用、 た製造業をはじめとする様々な企業、団体、教育機関が、産学 推進を後押しする仕組みづくりの検討も進め、日本企業のも

> デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 執行役員 藤岡 稔大 氏

MS & AD デジタルカレッジ from 京都

MS&AD インシュアランスグループホールディングスとデジタル人財育成のための社員研修プログラムを創設。ビッグデータ や最新テクノロジーを活用した新しいビジネスモデルを構築する人財を育成します。本学講師陣が中核となり、外部講師 と連携し同社専用の研修カリキュラムを実施します。受講者はドローンやウェアラブルの実習を交えて、IoTやAIの基本的 な仕組みを学び、医療や自動車など各分野におけるデジタルテクノロジー活用の現状と課題を学修します。







これまでに250人のDX人財を育成

体験型プログラムが研修参加者の意識改革に

我々、保険会社は常に新たなリスクに先回りし、皆さまに安心・安全 オンライン型研修プログラムでありながらテクノロジーを「体験」で

本研修では、デジタル技術を活用した新たなビジネスやサービスを も協力して行っていきたいと思います。 創造できる人財の育成を目指しています。その狙い通りに、研修 参加者が社内で毎年開催しているビジネスコンテストへ積極的に アイデアを応募するなど、学習成果を発揮してくれています。さらに

をご提供する使命があります。その役割をしっかりと果たしていく きたり、講義スタイル自体がDXを体現していたりする点が、研修参 には、多くの社員がデジタル技術等のテクノロジーに関する知見を 加者のDXへの意識改革にもつながっていると感じています。今後 は双方の強みを活かし、社会課題解決につながる新たな取り組み

> 三井住友海上火災保険株式会社 執行役員 ビジネスデザイン部長 本山 智之氏

Network 扩成最多。

本学の人々の『個性と多様性』。

それぞれの場所で、個性を輝かせ、 多様性を生み出しています。



自ら進路を選び、それをサポートする 体制が KUASにはあります。

永守会長への「憧れ」が今の自分を創っています。

私が日本電産を知ったのは、大学時代に同社の永守会長が KUASの理事長になられると聞いたのがきっかけでした。自分でエピソードを調べてみて、たった一代で一流企業を創業されたことや現在に至るまでの努力を知り、とても感銘をうけました。私は新設された学科に1期生として入学しました。「KUASの健康スポーツ学科を広める」という目的で地域の方を対象とする学科主催の体力測定会の主催や参加履歴のないボランティアへの参加など、貴重な経験をすることができましたが、この「前例がないことにも恐れずチャレンジする」と

いう姿勢は日本電産の創業の精神に通じると思い、就職活動では同社を志望しました。KUASは就職活動でも親身になって指導してくださる手厚い体制が整っており、キャリアサポートセンターや学科の教授の方々に大変お世話になりました。

入社4年目となった現在は、臨機応変に対応できる"柔軟性"と"正確性" が求められる秘書室で、会長のスピード感を直に感じながら仕事を しております。働く女性として、着実なキャリアアップを目標に、会社を 支える役割である管理部門を深く広く理解し、将来、この分野を極めて いくことを見据えてキャリア形成に励んでいます。

坂本 莉菜さん 日本電産株式会社 秘書室

健康医療学部 健康スポーツ学科 2019年卒



来店されるすべてのお客様を笑顔に

バイオ環境学部での野菜観察は銀行業務でも役立っています。

現在、銀行窓口で接客を行っています。ミスをするとダイレクトにお客様に影響する立場ですので、些細なこともメモを取ることを心掛けています。メモを取る行為はバイオ環境学部時代、野菜を観察する日々に訓練されたものです。 私の夢は来店されたすべてのお客様が笑顔で帰られることです。そのためにも金融の知識を先輩にご教示頂きながら、お客様のことをもっと知るために外回りの営業も担当したいと思っています。

道上 結さん 株式会社京都銀行 高槻支店

バイオ環境学部 食農学科 2020年卒

義足・義手のエンジニアになりたい。

KUASで習得中のCADや3Dプリンターの技術が役立ちそうです。

将来は義足や義手を開発するエンジニアになりたいと思っています。理由 は大好きな数学の先生が隻腕だったことです。身障者のハンディキャップを できるだけ軽減していきたいのは勿論ですが、義足・義手はまだまだ高価 なものなので、一般の人でも手に届くものに変えていくことが目標です。

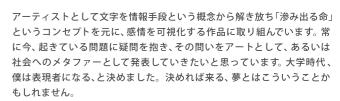
スプニさん(スリランカ出身)

WIJESUNDERA Prathiksha Kumari Supuni 工学部 機械電気システム工学科 1 年生



人々がその想いを堂々と発信できる 先駆者になる。

大学では"120%の力を注げること"を見つけてください。





人文学部 歴史文化学科 2016年入学



観ている人に希望や感動を与えられる選手を目指して。

人とのつながりが重要だと感じたキャンパスライフでした。

プロとしての野球との関わり方の変化やファンとの接点を持つことで、キャンパスで経験した人とのつながりが重要だと感じることができました。今後、インパクトのある結果を求めて地道な反復練習を行い、再現性を高めていき、捕手として必要なスキルである声出しや指示出しを練習のときから常に意識して取り組みたいと考えています。プロとしての自覚や主体性を持ちながらジャイアンツ1軍のレギュラーを目指します。

喜多隆介さん 読売ジャイアンツ 捕手

人文学部 心理学科 2020年卒 硬式野球部



28

2021年度 国家試験合格速報

看護師

保健師

言語聴覚士

【これまでの合格実績】

第一期生(2018年度卒)	看護師 100%	保健師 一	言語聴覚士 100%
第二期生(2019年度卒)	看護師 100%	保健師 100%	言語聴覚士 93%
第三期生(2020年度卒)	看護師 99%	保健師 100%	言語聴覚士 90%

看護学科が開設した2015年度から看護師の合格率はおおむね100%を達成しています。

STAGE 1.0における本学の主要な受賞歴

IEEE TALE Student Research Competition優勝。



2020年12月、「革新的なテクノロジーによる学習の新 時代への参入」をテーマに開催された Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE)TALEの Student Research Competition に出場した本学工学部 機械電気システム工学科1年の田中大誓さん、又吉 信二郎さん、ユンセナさん。教室の利用状況をリアル タイムでモニタリングをしてパンデミック時に混雑し た場所を避け、感染予防につなげる「Akikomi」シス テムを提案。見事、出場した Undergraduate のカテ ゴリーで優勝を果たしました。

※IEEEとは、米国に本部をおく電気・電子・情報工学分野の世界最大規模の専門家組織(学会)、技術標準化機関です。TALEとは、IEEE Education Societyの アジア太平洋地域が主催する工学教育分野で最も影響がある国際会議です。

パワーリフティング部が創部16年目にして悲願の初優勝。

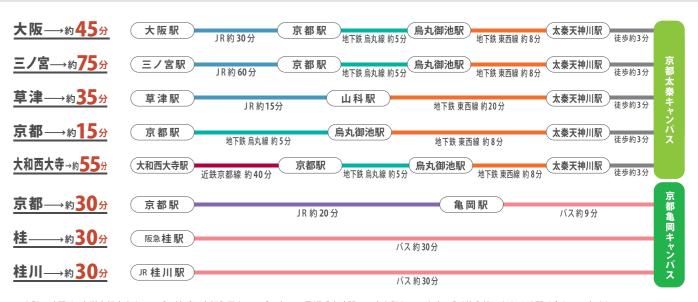


2021年12月19日(日)に開催された兵庫県明石市のパ ワーフラッシュアリーナにて文部科学大臣杯争奪第48回 全日本学生パワーリフティング選手権大会。団体戦に おいて悲願の初優勝。個人戦では4名が優勝、3名が 準優勝を飾り、野村優選手(経営学科4年生)が女子 最優秀選手賞を、金子万生選手(健康スポーツ学科2 年生)が男子最優秀新人賞を受賞しました。

Access Guide

- ・地下鉄東西線 太秦天神川駅より徒歩約3分 → 京都太秦キャンパス
- ・JR亀岡駅よりバス約9分 → 京都亀岡キャンパス





※上記の時間は、本学京都太秦キャンパス並びに京都亀岡キャンパスまでの最短乗車時間の目安を記しています。乗り換え等にかかる時間は含んでいません。 また、時間帯によっては変わることがありますのでご注意ください。

31